

3類型	鉱工業品又は鉱工業品の生産に係る技術	通巻番号	2-23-006
地域資源名	珪藻土	認定日	平成24年2月3日
地域	秋田県北秋田市	所管省庁	経済産業省

事業名：地域資源「珪藻土」と地域で培われてきた「縫製技術」との連携による「珪藻土アイテム」の開発と販売

会社名：北秋田WATOOGA協同組合 所在地：秋田県北秋田市綴子字古関83

連絡先：TEL：0186-63-1110 URL：<http://watoga.or.jp/>

事業概要(新たな活用の視点)

- ・地域資源である「珪藻土」と地域で培われてきた「縫製技術」を活かし、珪藻土アイテムとして「珪藻土」の特徴である「吸水性」を活用した冷却タオル、「断熱性」や「保温性」を活用した保温マフラー等の商品化及び販売を行う。



採掘後の珪藻土

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

◆競争力

- ・冷却タオルについては、他の競合品、類似品と冷却効果を比べても遜色なく、むしろ冷却までの準備時間、耐久性、軽さ、装着感、臭いなどを見ても、優位性がある。同時に、原料の珪藻土は珪藻の殻の化石の堆積物であり、化学物質を使わないため、自然環境や人にやさしい商品である。
- ・当組合には、企画から製品化までの一貫生産が可能な体制が構築されていると共に、高い縫製技術(昇華転写、シームレス縫製)を備えているため、多種多様な商品開発が可能である。



球状に加工した珪藻土(珪涼玉)

◆市場性

- ・冷却タオルについては、暑さ対策のため、携帯型冷却アイテムに対する注目が高まっている他、環境に配慮した消費者のニーズを満たす商品と言える。

◆販路

- ・「多少値段が高くても、環境に配慮した商品を選ぶ」消費者層を主たるターゲットとする。
- ・連携する秋田大学のソーシャルネットワーク等を活用しながら、県内大学、首都圏、全国展開へと需要開拓を進める。



珪涼玉(ひんやりだま)タオル

地域資源における関係事業者との連携

- ・「珪藻土等地域資源利活用検討会市民文科会」を立ち上げ、市民からの意見を徴収しつつ、北秋田市や秋田大学等と連携し事業展開を図る。